

桜





夜は、きらきら。

後は、きき。

くまのこゝろ。

くまのこゝろ。

くまのこゝろ。



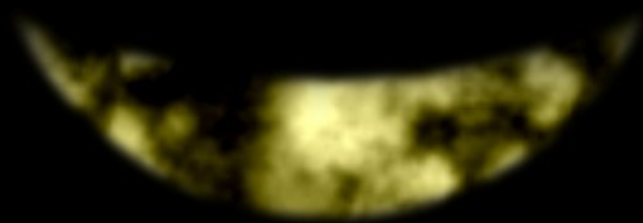
誰もはなしてくれない。

誰も手を出してくれない。

誰もみまわってくれない。

誰もかまってくれない。





ニカニカしてるお月様は  
木々からい。





しあわせなうらなひを  
かまへておぼろげに  
ゆめをみせたいと  
おもふ。

おぼろげなうらなひ



夜はながい。

冬はながい。

いつかは終る。さっしうけぬ。

わたしの夜はおわらない。

わたしの冬は

まっこと、えらえらに

ながくた。



ひたすらに手をひたひたに動か

なしてゆけ。

その

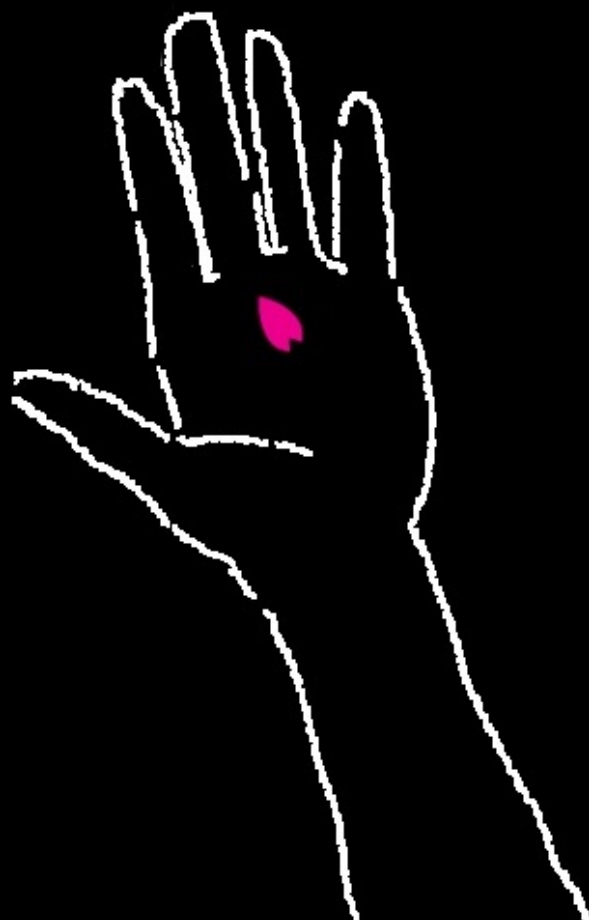
手はあちがひかたか

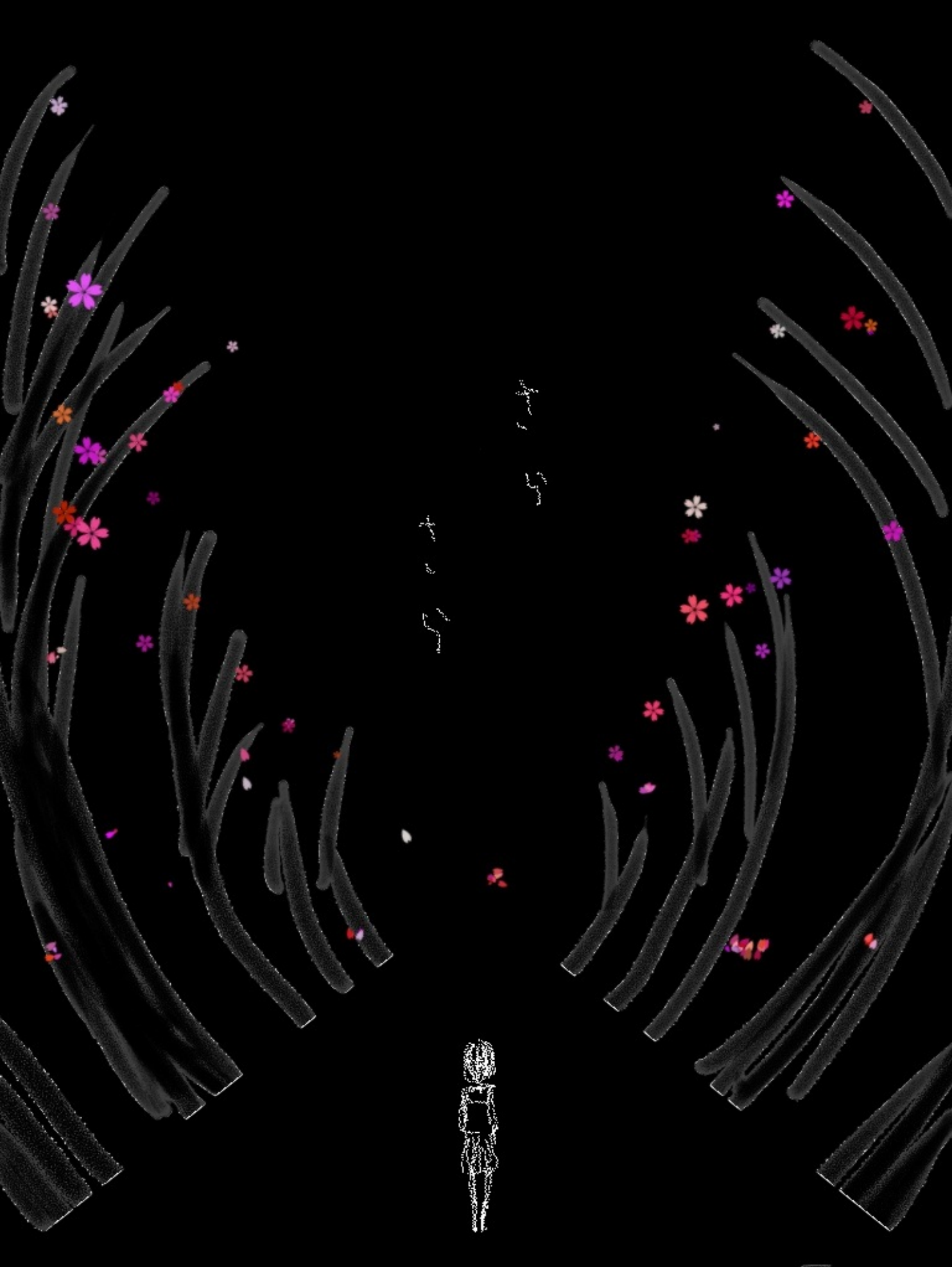
手からなしくた。



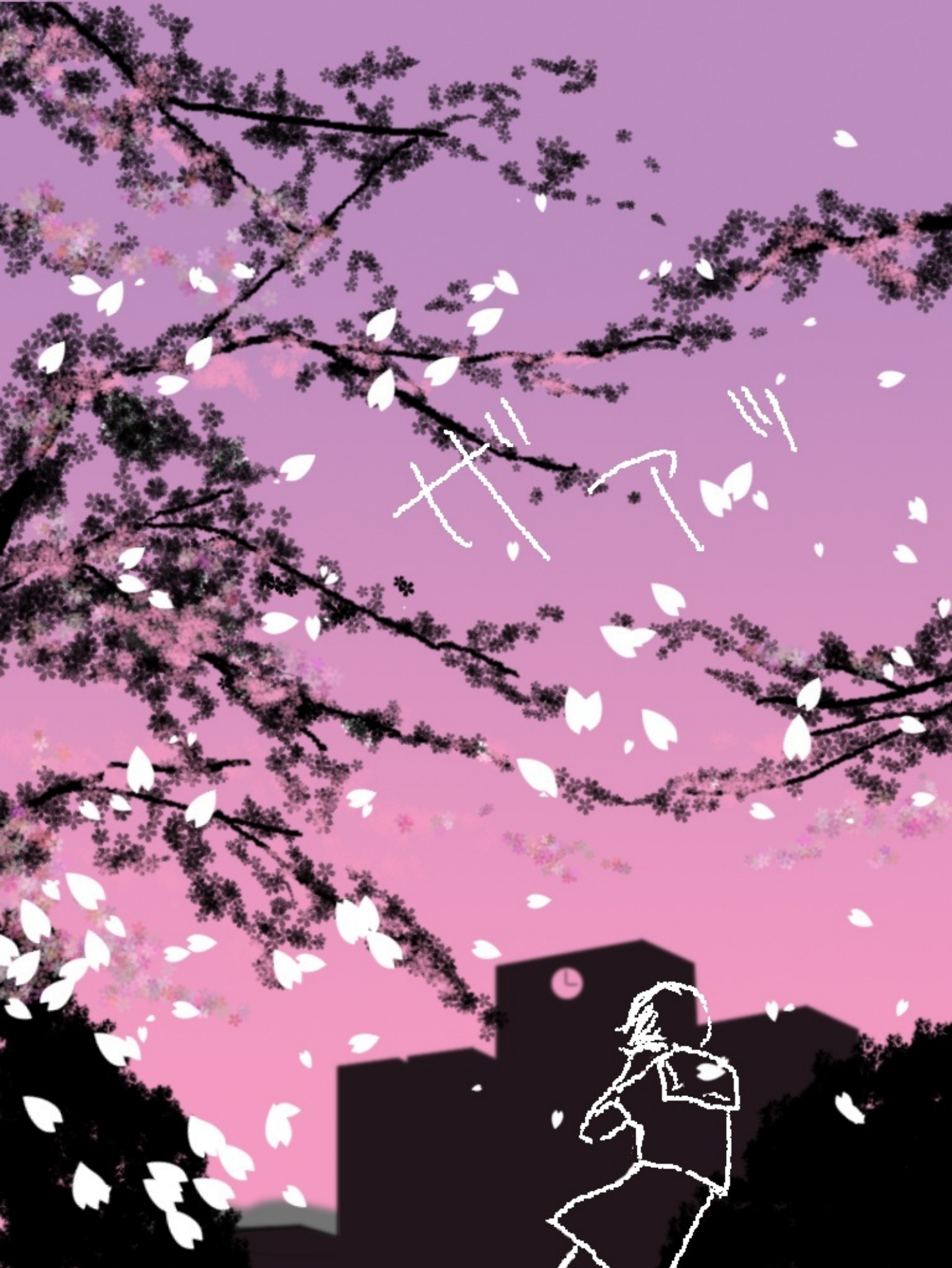


衣









夜がくゞいののはあたりまえ、

冬がさむいのはあたりまえ、

けど、朝はく。。

けど、夜はあつ。

夜はおゆる。

冬もあゆる。

じかんは、なみただごと

思ふことおゆる。

な。



あしまた

